

命を守る安心・安全な新しいまちづくり

「南三陸モデル」の発信

私たちは世界でもあまり例のない大津波の被災体験をしました。

今後どのような災害に遭遇しても住民の命が守られ、暮らし続けることができる町を目指し、
集落および地域社会の創造的な復興に向け町民一丸となり復興事業を推進しています。

このような南三陸町の復興への取り組みが今後日本各地の災害・減災対策、災害復興に活かされるよう、
津波から命を守る安全・安心な新しいまちづくり「南三陸モデル」について全国へ発信します。

日時 平成25年 2月14日(木) 13:30-17:00 (開場13:00)

場所 南三陸ホテル観洋 コンベンションホール「羽衣」
宮城県本吉郡南三陸町志津川字黒崎99-17 TEL.0226-46-2442

入場無料

[先着500名]

※どなたでも参加できますが、事前の申込をお願いします。詳細は裏面。

基調講演

演題

地域で進める防災・減災対策
～防災教育の展開～

講師

東京大学地震研究所 助教

おおき さと こ
大木 聖子氏

高校1年生の時に起きた阪神・淡路大震災を機に地震学を志す。地震研究所地震火山情報センターに所属。災害情報、防災教育、科学コミュニケーション、地震学などの研究活動を継続。



パネルディスカッション

「これからの減災対策と合わせた新しいまちづくり」

コーディネーター

パーソナリティ……………本間 秋彦氏

パネリスト

長崎県南島原市長……………藤原 米幸氏
宮城大学副学長……………大泉 一貫氏
東京大学地震研究所 助教……………大木 聖子氏
宮城県土木部次長……………遠藤 信哉氏
南三陸町長……………佐藤 仁

プログラム

- 13:30 開会あいさつ**
国土交通省 / 南三陸町長 佐藤 仁
- 13:40 基調講演「地域で進める防災・減災対策～防災教育の展開～」**
東京大学地震研究所 助教 大木 聖子氏
- 14:50 パネルディスカッション「これからの減災対策と合わせた新しいまちづくり」**
- コーディネーター
パーソナリティ 本間 秋彦氏
 - パネリスト
長崎県南島原市長 藤原 米幸氏
宮城大学 副学長 大泉 一貫氏
東京大学地震研究所 助教 大木 聖子氏
宮城県 土木部次長 遠藤 信哉氏
南三陸町長 佐藤 仁
- 17:00 閉会**

同時開催（主催：南三陸町）

- 東日本大震災写真展（ホテル観洋ロビーにて開催）
- エクスカージョン
南三陸町の被災状況、復興状況について町内を巡るエクスカージョンを開催
受付・集合場所：南三陸ホテル観洋ロビー
集合時間：2月14日（木）9:30（所要時間2時間程度）

申込要領

- どなたでも参加できますが、定員がありますので、FAX、電話のいずれかにより、2月12日（火）までにお申し込みください。
- フォーラムの定員は500名、エクスカージョンについてはバスの定員に達し次第、締め切らせていただきます。
- ※エクスカージョンへ参加の方は、当日受付にて参加費（500円）をお支払い頂きます。
- 申込者の個人情報は、当フォーラムの運営目的にのみ使用するものであり、主催者が安全に管理し保護を徹底します。法令に基づく場合などを除き、第三者に開示・提供することはありません。

お申し込み・お問い合わせ

南三陸町役場復興企画課

〒986-0725 宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田 56 番地 2
TEL 0226-46-1371 FAX 0226-46-2672

交通のご案内



【JRでのアクセス】

仙台駅より東北本線経由・気仙沼線柳津駅乗換（BRT）で志津川駅下車、タクシーで約10分（120分）

※志津川駅より12時15分、13時15分に南三陸ホテル観洋まで送迎バスを運行いたします。ご不明な点については、上記連絡先までお問い合わせください。

【自動車でのアクセス】

仙台から国道45号で約120分（約90km）
東北自動車道築館ICから約60分（約45km）

※お車で越越しの際は南三陸ホテル観洋の駐車場をご利用下さい。

●コーディネーター



パーソナリティ

本間 秋彦氏

ほんま あきひこ

石巻市（旧牡鹿町）出身、現在東日本放送「突撃！ナマイキTV」やDatefm「エアジャムフライディ」「リセッターズ」「MJQ ネット」等レギュラー多数。
その他にもイベント MC やナレーターとしても活躍している地元タレント & DJ パーソナリティ。

●パネリスト



長崎県南島原市長

藤原 米幸氏

ふじわら よねゆき

平成8年より18年まで長崎県有家町長（通算3期）、平成22年より現職。
平成3年、雲仙・普賢岳の大火山降流発生時は有家町職員として被災者の救援活動にあたった。
被災から20年を迎える平成23年に隣接する島原市、雲仙市とともに復興宣言を果たす。雲仙・普賢岳と対峙するのではなく火山を受け入れ火山とともに生きることが評価され、平成21年南島原市・島原市・雲仙市で構成する島原半島が世界ジオパークネットワークへ加盟。



宮城大学 副学長

大泉 一貫氏

おおいずみ かずぬき

1949年宮城県生まれ。東京大学大学院修了。農学博士。地域政策、地域経済・地域産業の活性化の研究に従事。農政に関する提言や評論活動を展開。日本地域政策学会会長、内閣府規制改革会議専門委員（地域経済・農業部会）、内閣府経済財政諮問会議ワーキング委員、農政改革関係閣僚会合特命チームアドバイザーを歴任。
東日本大震災南三陸町震災復興計画策定会議委員として復興計画策定に尽力。

東京大学地震研究所 助教

大木 聖子氏

おおき さとこ



宮城県 土木部次長

遠藤 信哉氏

えんどう しんや

宮城県庁入庁後、石巻土木事務所、都市計画課、気仙沼土木、道路建設課、土木総務課、東京事務所、政策課等に勤務。都市計画課長、道路課長を経て、2011年4月から現職。
震災時には道路課長として、津波被災地域に通じる道路の啓開を最優先に取組んだ。現在は復興に向けて実施する事業推進の指揮を執る。

南三陸町長

佐藤 仁

さとう じん

1970年3月 宮城県仙台市立仙台商業高等学校卒業
1992年2月 旧志津川町議会議員に当選
2002年3月 旧志津川町長に就任
2005年10月 志津川町と歌津町が合併
2005年11月 初代南三陸町長に就任（1期目）
2009年11月 南三陸町長再選（2期目）
現在に至る。

1960年5月に発生したチリ地震津波による甚大な被害を教訓として、災害に強いまちづくりを推進するとともに、他に誇るべき豊かな自然と基幹産業である水産業を基盤に観光客の誘致促進を図るべく各種の事業を推進していた矢先、今回の大震災に見舞われた。

・FAXでお申し込みの場合は、下記に記載の上、この面（チラシ裏面）をそのまま送信してください。

所属・住所	氏名	電話（連絡先）	エクスカージョン参加の有無
			有・無
			有・無